

2020年1月29日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証一部 / 証券コード: 3762)

API テスト自動化と API テスト環境仮想化を 1 ツールで実現する 「SOAtest/Virtualize 9.10.8」の販売を開始

API テストに対するソースコード修正の影響を分析し、影響を受けるテストをレポート
仮想化した API の応答で使用するデータソースの CRUD 操作機能を強化。現実的な仮想化でテストが可能

テクマトリックス株式会社(本社: 東京都港区、代表取締役社長: 由利孝、以下「テクマトリックス」)は、米国 Parasoft Corporation (本社: 米国カリフォルニア州、最高経営責任者: Elizabeth Kolawa、以下「Parasoft 社」)が開発した API テスト自動化と API テスト環境仮想化を 1 ツールで実現する「SOAtest/Virtualize 9.10.8」の販売を 2020 年 1 月 29 日より開始します。

さまざまなシステムやサービスの連携がビジネスの成長につながる DX 全盛の今、システムやアプリケーションの開発には、かつてないほどのスピードが求められています。しかし、セキュリティや顧客満足度の観点から品質の担保も大変重要な課題です。

SOAtest/Virtualize は、システムやサービスの連携に欠かせない API の開発者と利用者に向けてテストの自動化とテスト環境の仮想化の 2 つの側面から開発の効率化をサポートします。API の開発者には、API のテストドライバーを自動生成し、API の単機能テストやシナリオテストを自動化します。API を利用する側のアプリケーションの開発者には、アプリケーションを実行する際に連携する API やサービスをスタブとして仮想化し、いつでも、誰でも、何度でも、テストを実行できる環境を提供します。

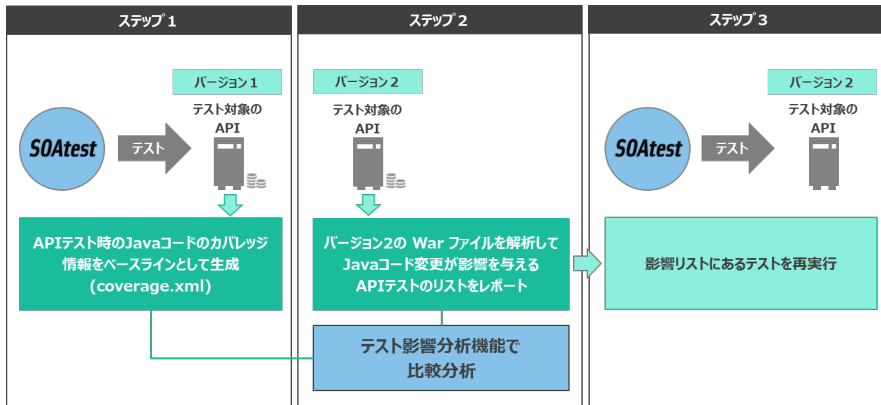
このたび販売を開始した SOAtest/Virtualize 9.10.8 は、API 開発者のためのテスト自動化機能(SOAtest)に、ソースコードの修正が API のテストに及ぼす影響を分析し、再テストが必要になる API テストのリストをレポートする機能が追加されました。このテストの影響分析機能により、コード修正後に実施する回帰テストにおいて実施すべきテストが明確化され、テスト時間を短縮することができます。API を利用する側のアプリケーション開発者のためのテスト環境の仮想化機能(Virtualize)では、API やサービスに代わって応答するスタブの CRUD(Create, Read, Update, Delete)の挙動をステートフルに保持できる機能が強化されました。これまでに比べて、複数のサービスや API をまたぐシナリオテストにおける状態遷移テストや機能テストが格段に実施しやすくなりました。

テクマトリックスは、Parasoft 社製品の国内総販売代理店として、API の開発と API を使用するアプリケーションの開発に携わるすべてのお客様の課題解決に最適なツールとして、SOAtest/Virtualize の販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を強化してまいります。

【SOAtest/Virtualize 9.10.8 の新機能・改善点】

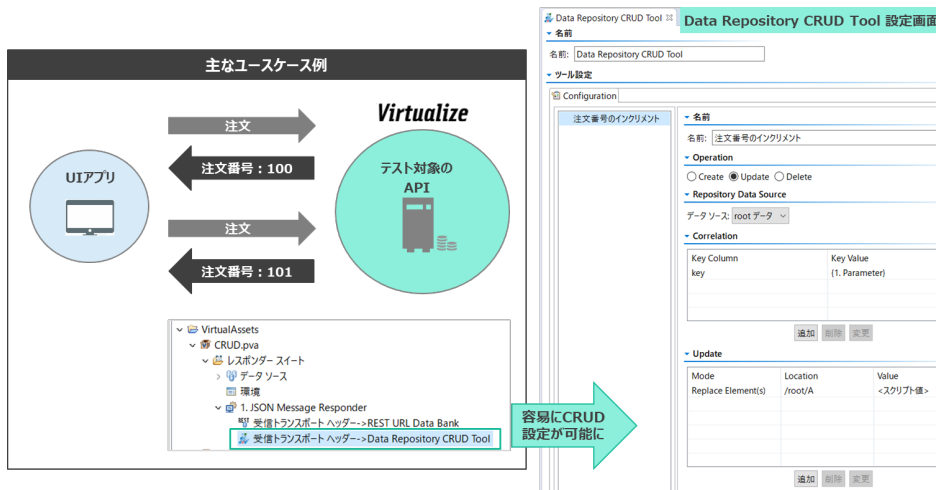
- ・ API テストに対するソースコード修正の影響を分析し、影響を受けるテストをレポート
API の開発者にテストの自動化機能を提供する SOAtest に、テストの影響範囲を分析し、影響を受けるテストをリストアップする機能が追加されました。

Java で開発しているアプリケーションのソースコードを修正後、War ファイルを解析し、前回 SOAtest で実施した API テストについて、ソースコードの修正が影響を与えるものをリストアップします。テスト実行対象をリストアップされたものに絞ることにより、全体をテストするのに比べて、テスト時間を短縮できます。



- API やサービスに代わって応答するスタブの CRUD(Create, Read, Update, Delete)の挙動をステートフルに保持。より現実的なテスト環境を提供

API を利用する側のアプリケーションの開発者に実際のサービスや API に代わって応答するスタブを提供する Virtualize では、API やサービスに代わって応答するスタブの CRUD(Create, Read, Update, Delete)の挙動をステートフルに保持できる機能が強化されました。複数のサービスや API をまたぐシナリオテストにおいて、テスト対象アプリケーションが期待する現実的な値が返されることにより、文脈の通ったテストが実施できるようになりました。単機能のテストに加えて、複雑なシナリオテストも実施しやすい環境が提供されたことにより、実環境でのテストの前に、アプリケーションの品質確認が行いやすくなりました。



【SOAtest/Virtualize の稼働環境】

- Windows 64bit
Windows 8.x、Windows 10、Windows Server 2008、Windows Server 2012、Windows Server 2016

- Linux 64bit

GTK+ 2.18 以降、GLib 2.17.6 以降、Pango 1.20 以降、X.Org 1.0 以降

製品の詳細は Web ページをご確認ください。

URL : www.techmatrix.co.jp/product/soatest_virtualize/

【SOAtest/Virtualize の販売開始日】

- 販売開始日 : 2020 年 1 月 29 日
- 出荷開始日 : 2020 年 1 月 29 日
- 2020 年 1 月 29 日において、保守サービスをご契約いただいている SOAtest/Virtualize のユーザー様には、「SOAtest/Virtualize 9.10.8」バージョンアップ製品を無償でご提供します。

■Parasoft Corporation について

Parasoft 社は、25 年以上にわたり、ソフトウェアのバグがアプリケーションに混入する原因と仕組みを研究し、数々のソリューションを提供してきました。Parasoft 社のソリューションは、ソフトウェア開発ライフサイクルにおける継続可能なプロセスとして、品質改善活動を支援し、頑強なソースコードの実装、無駄がなく機能性の高いシステムの構築、安定したビジネスプロセスの実現を可能とします。数々の賞を受賞した Parasoft 社製品は、長年の研究成果と経験から得られたノウハウを自動化し、エンタープライズシステムから組み込みソフトウェアまで、どのようなタイプのソフトウェア開発においても、生産性向上と品質改善を実現します。Parasoft 社のコンサルティングサービスは、ツールでは解決できない問題の解決や開発プロセスの改善など、Parasoft 社の 25 年以上の経験を直接お客様に提供し、お客様の改善活動を支援します。詳細は Web サイト : www.parasoft.com/ をご参照ください。

■テクマトリックス株式会社について

テクマトリックス(東証一部:3762)は、クラウドコンピューティング時代に技術革新をもたらす情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」と、ソフトウェア開発のベストプラクティスを駆使してアプリケーション開発を行なう「アプリケーション・サービス事業」を展開しております。ソフトウェアエンジニアリング分野では、20 年にわたり、ソフトウェア品質向上をサポートする製品を海外より輸入し、日本国内に提供するためのローカライゼーション、コンサルティング、技術サポート、教育などさまざまな付加価値を付けてご提供しています。

詳細は Web サイト : www.techmatrix.co.jp/ をご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

テクマトリックス株式会社

ソフトウェアエンジニアリング事業部 SOAtest/Virtualize 担当

E-mail : parasoft-info@techmatrix.co.jp

TEL : 03-4405-7853

*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。